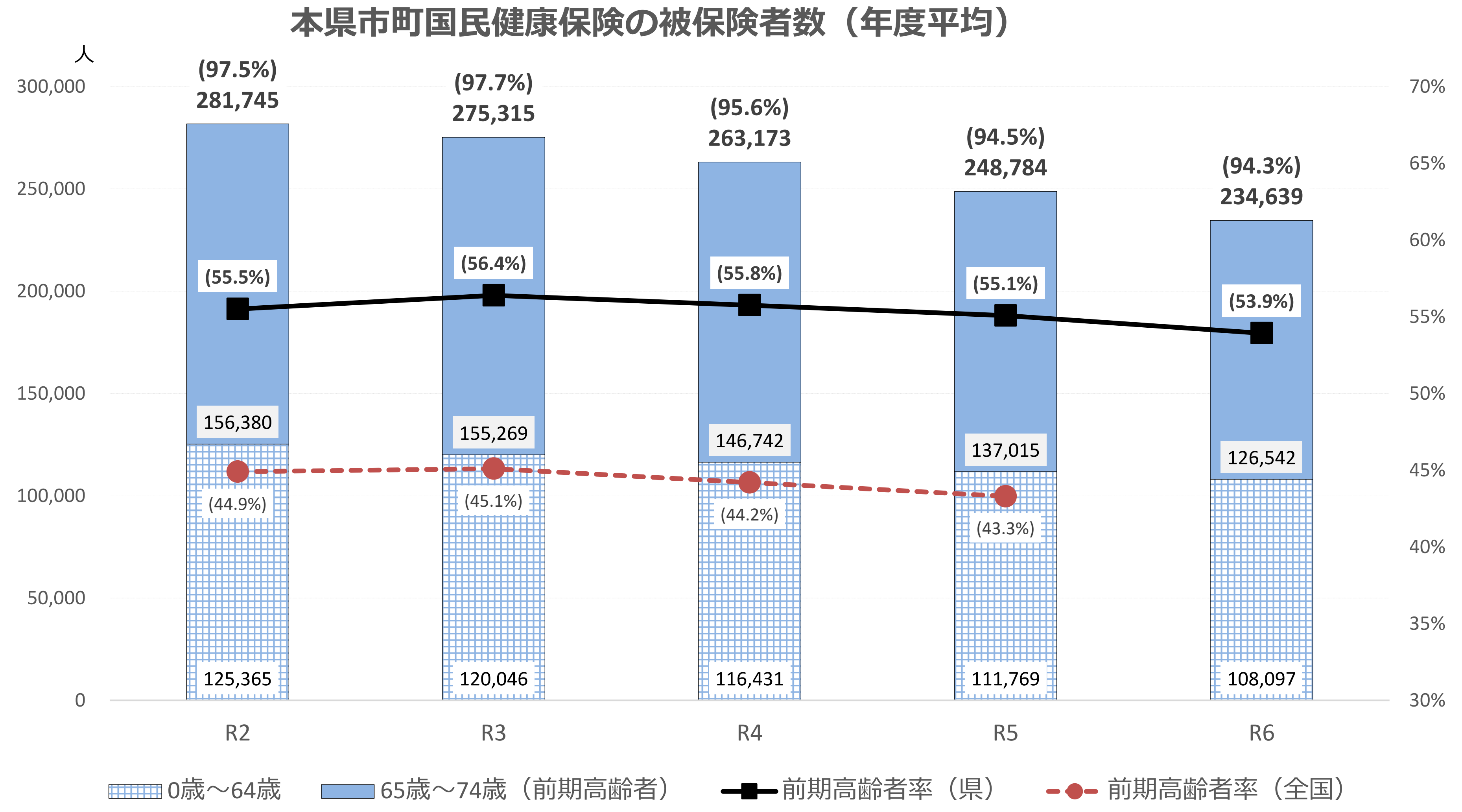
資料１

本県の国民健康保険の概況

＜令和7年11月　山口県国民健康保険運営協議会＞

本県国民健康保険の被保険者数の推移

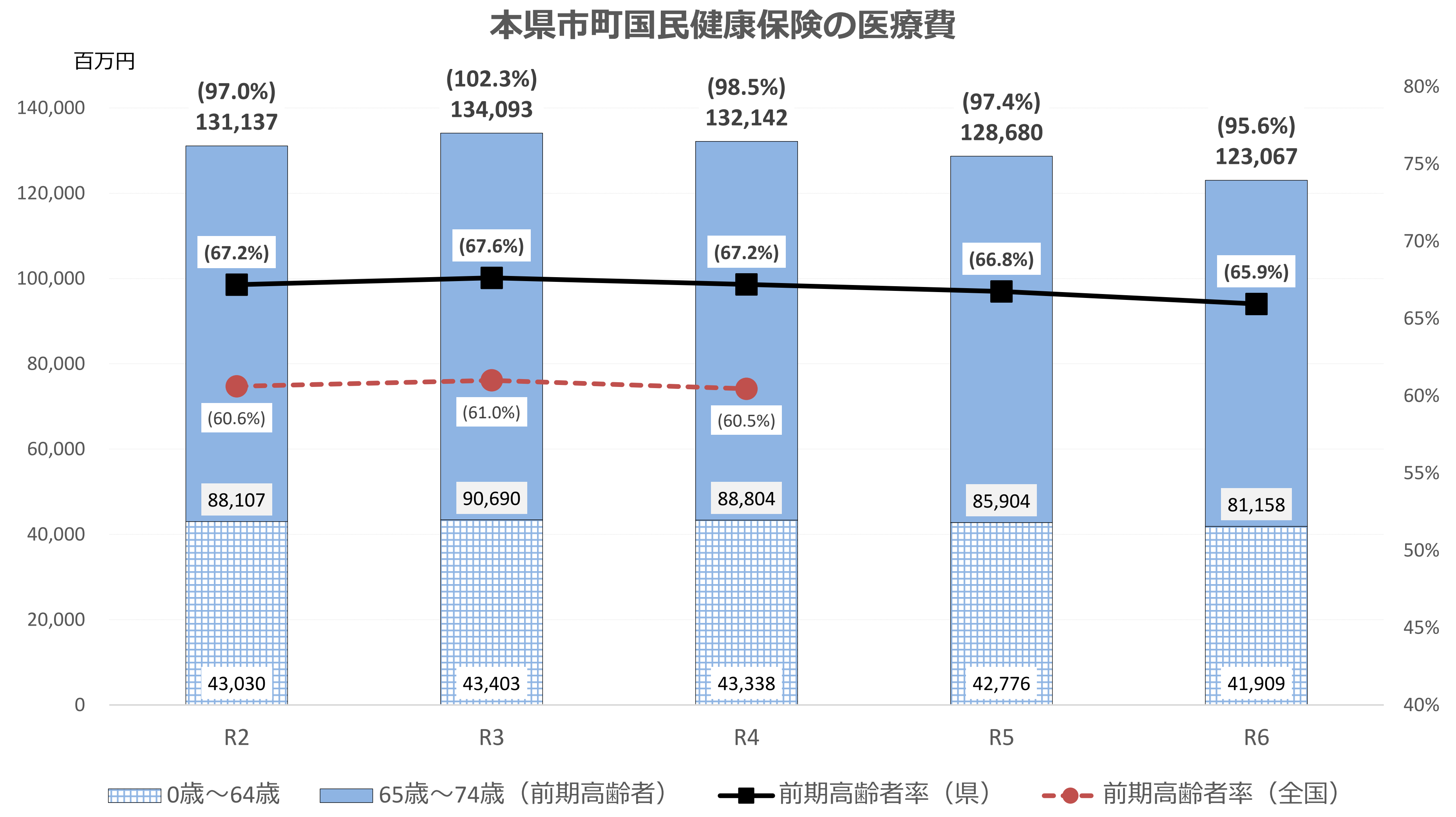
本県国保の被保険者数は、団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行や被用者保険の適用拡大等により、減少傾向にある。前期高齢者の割合も減少傾向にあるが、全国と比較してその割合は高い。



※　令和６年度は速報値
※　合計値の上の%は、対前年比（以下同）

本県国民健康保険の医療費の推移

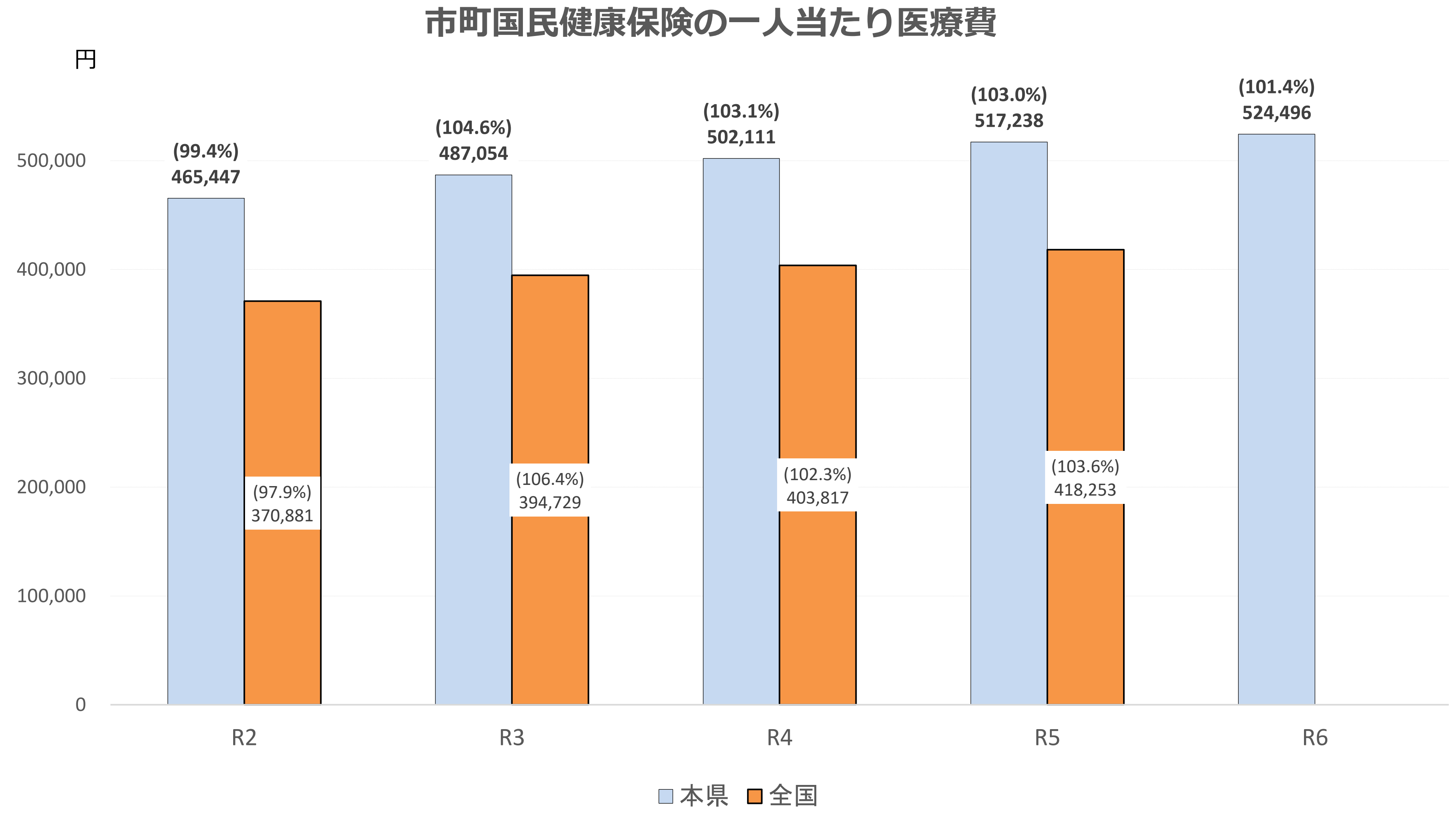
本県国保の医療費は、被保険者数の減少に伴い、減少傾向にある。前期高齢者の割合も減少傾向にあるが、全国と比較してその割合は高い。



※　各年度の事業年報の「医療給付の状況」の「費用額」を抽出したもの
※　令和５・６年度は速報値

本県国民健康保険の一人当たり医療費の推移

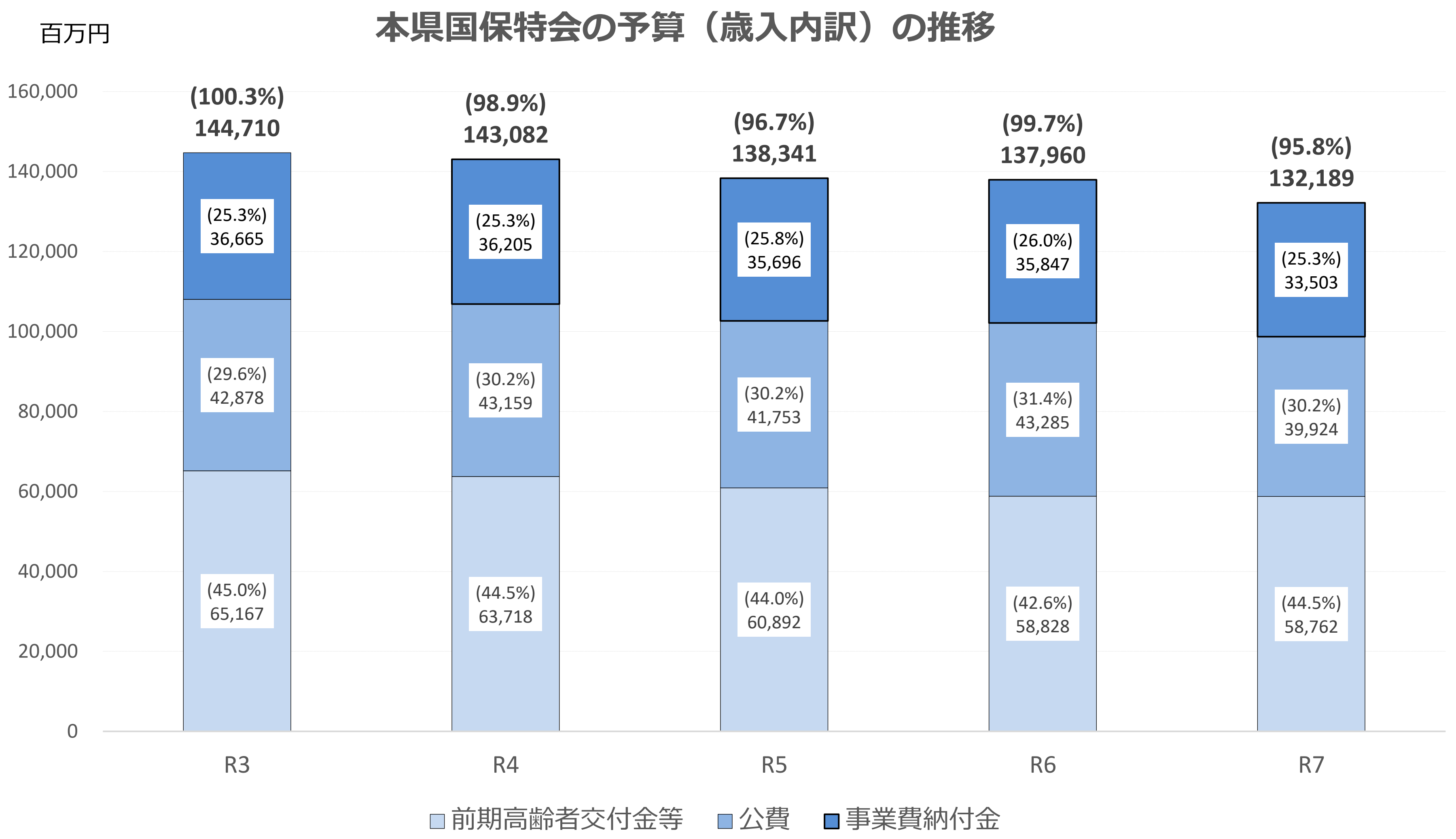
一方で、本県国保の一人当たり医療費は、高齢化や医療の高度化等により、年々増加する傾向にある。全国と比較しても本県の一人当たり医療費は高い（令和５年度実績で全国２位）。



※　令和６年度は速報値

本県国民健康保険特別会計の予算の推移

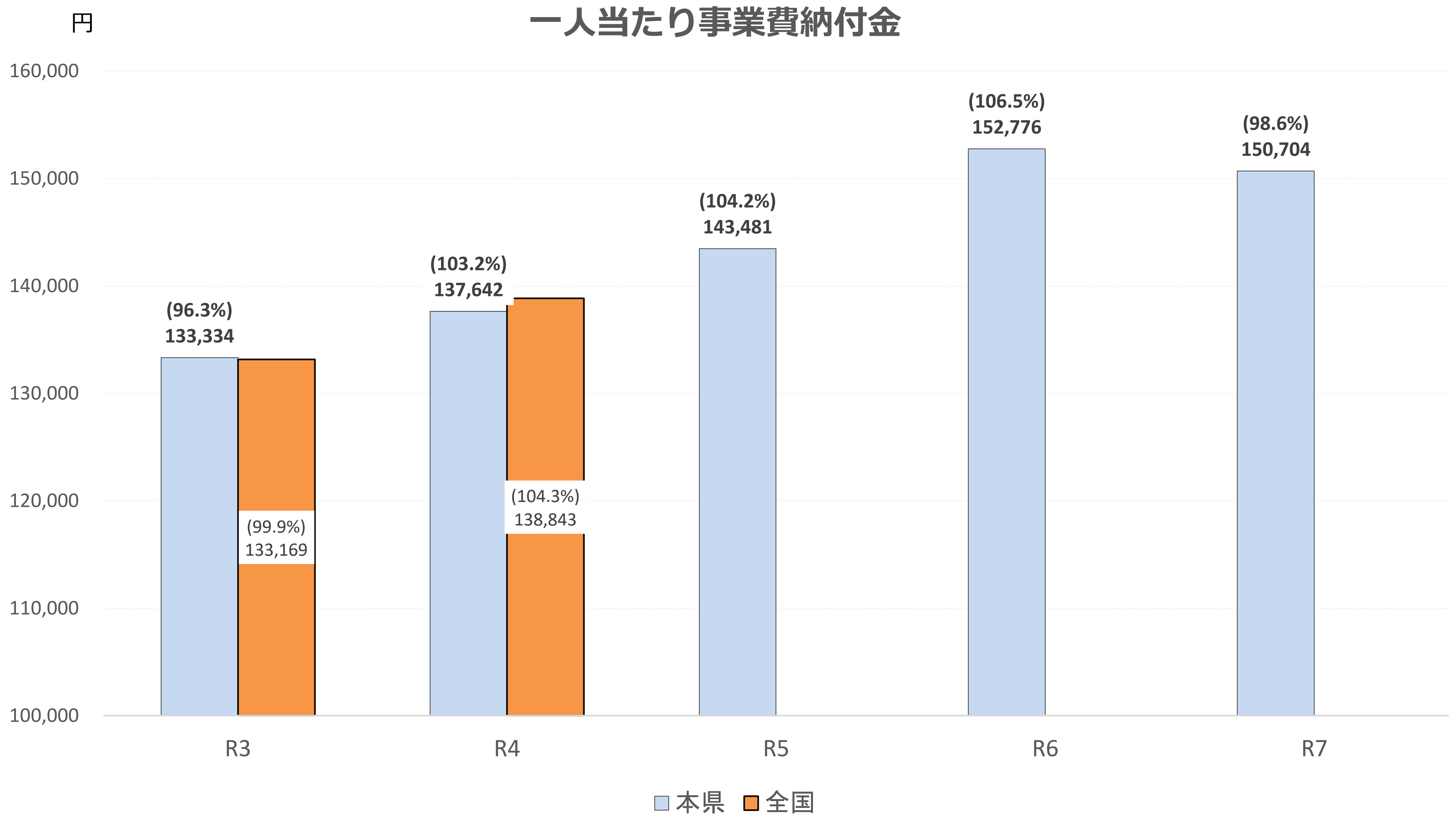
本県国保特会の予算は、一人当たり医療費が増加しているものの被保険者数の減少の影響が大きく、減少傾向にある。



※　前期高齢者交付金とは、65～74歳の被保険者の割合に応じて、他の医療保険者から支払基金を経由して支払われる交付金
※　公費とは、国庫補助金、国庫負担金、都道府県一般会計繰入金の合計額
※　各区分の%は、それぞれの内訳割合

本県の一人当たり事業費納付金の推移

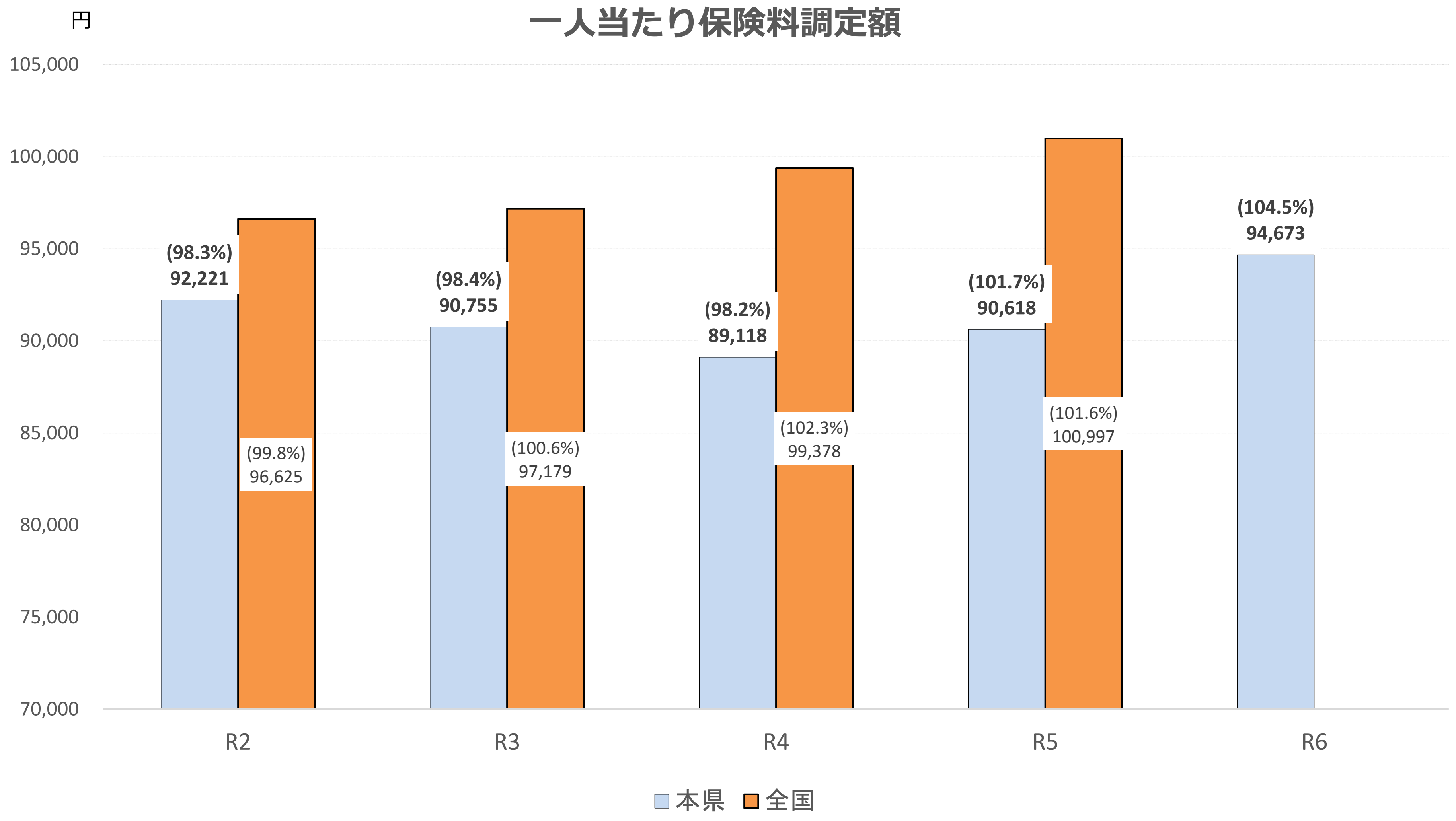
本県の一人当たり事業費納付金は、一人当たり医療費の増加と同様に、増加傾向で推移している。



※　一般被保険者に係る事業費納付金額（医療＋後期＋介護）から算出
※　保険給付費等の歳出見込から、公費及び前期高齢者交付金等の歳入見込を除いた残額を、事業費納付金として設定
※　令和５・６年度は速報値。令和７年度は概算値

本県の一人当たり保険料調定額の推移

本県の一人当たり保険料調定額は、全国傾向と異なり一旦減少したが、増加傾向に変わっている。



※　保険料調定総額（医療＋後期＋介護）を全被保険者数で除して算出
※　各市町は、事業費納付金から市町毎に異なる歳入歳出・低所得者に係る軽減額等を反映させて保険料を設定
※　令和６年度は速報値